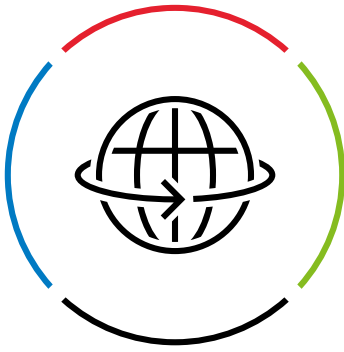




Wolters KluwerのTeamMate 監査ソリューション

大手保険会社が TeamMate+ Data Exchange APIを活用して 効率化を実現



グローバルに事業を展開し、14,000名を超える専門家が多様な技術的専門知識を提供しているこの大手保険会社は、顧客にさらなるセキュリティ強化を提供する独自ソリューションの開発に注力してきました。その成果は、資産管理やリスク管理、デジタル保険、あるいは公共部門のソリューションといったサービスに一貫して反映され、顧客に提供されています。

このパフォーマンスへの情熱を支えているのが内部監査チームです。100名を超える内部監査の専門家チームは、同社のグローバル拠点の全部門に配属され、2019年から TeamMate+ のメリットを活用して監査を行っています。

デジタル監査チームは、レポートिंगソリューションからグループ全体の内部監査データの管理ソリューションに至るまで、内部監査部門(GIA)が使用するすべてのアプリケーションを監視しています。毎年実施される監査件数が平均100件に達し、

リスクベースの監査と規制業務の両方をこなす必要があることを踏まえると、これは大変な作業です。そのため、監査チームの目標達成をサポートし、組織のニーズと目的を満たすために、リソース、技術、アプリケーションを効率的に展開するプロセスを早急に確立する必要がありました。

「目標設定の瞬間からグループ監査委員会に結果を報告する瞬間まで、テクノロジーはエンドツーエンドで私たちをサポートしてくれます」(デジタル監査チーム責任者)



組織のニーズとの整合性を確保する

同社の内部監査プロセスは複雑なため、Excel 頼みだけでは限界がありました。年間計画・スケジュール・データ収集の緻密さに対応するには、堅牢なツールが必要であることは当初から明らかでした。デジタル監査チームはそのような状況の下、ProSymmetry が提供するソリューション、リソース管理ソフトウェア **TempusResource** を導入しました。同社は TempusResource に TeamMate+ Data Exchange API の特定の機能を整合・統合することで、はるかに信頼性が高く持続可能な同期性の実現に成功しました。

「さまざまな理由により、監査計画の変更が生じる可能性があります。ですから、TeamMate+ で表示される内容が、Tempus にも同じように反映されていることを確認できなければなりません。情報の整合性を確保する必要があります。この2つのソリューションを連携する Data Exchange API の真価が発揮されるのはまさにこの点であり、これまでのところ大きな成功を収めています」(デジタル監査チーム責任者)

社内で開発された各種レポーティングソリューションは、Tempus と TeamMate+ の両方を活用することで、内部監査チームと多様なステークホルダーの双方を満足させるシームレスなワークフローを実現しています。同社では、API を介してこれらのソリューションにアクセスし有効活用する機能が、日常的に使用されています。「この機能がなければ、内部監査は比較にならないほど断片化され、管理が困難なものになるでしょう」とデジタル監査チームの責任者は語っています。

「このAPIの導入はシステム間の連携を再構築する鍵であり、業界の現在のトレンドにも合っています。APIを介したデータの統合により、信頼できる唯一の情報源を確立することが可能になります」(デジタル監査チーム責任者)

「ツールで何ができるかを決めるのは自分たち自身です。私たちは、収集すべきデータについて時々実験を行っています。適切な粒度とは何でしょうか？ 一步下がって客観的な視点で見ることにより、何かを学んでは改善するという反復的なプロセスで作業を進められるようになります。このアプリケーションの柔軟性があってこそ、新しいことを試し、その可能性を広げていくことができるのです」

デジタル監査チーム責任者



常に正確な レポーティング

内部監査チームがグループ監査委員会に報告をする際は、当然ながら、すべてが完璧でなければなりません。誤りはもってのほかです。たとえばTempusとTeamMate+の使用例のように、複数のシステムをまたいで運用する場合は、すべてのデータの整合性を確保した上で、共通の言語を使用し、ソースに直接紐付ける必要があります。そこに迷いや疑いが入る余地はありません。Tempusの時間管理・スケジュール計画機能と、TeamMate+の内部監査の調査・管理ソリューションを組み合わせることにより、最先端ソリューションの一端を垣間見ることができます。

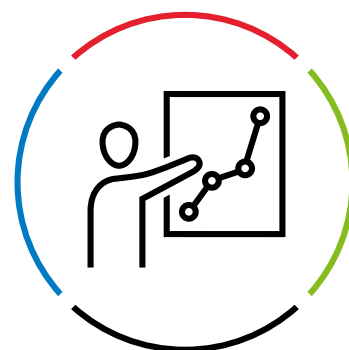
「この2つのアプリケーションを統合することで、スケジュール管理能力を反映した年間目標を設定できると同時に、求める成果を達成するために必要なスキルを考慮しながら、より現実的な方法で業務計画を練ることが可能になりました。さらに、TeamMate+のデータとTempusの保有データを組み合わせれば、正確なメトリクスを作成できます。私たちは、自ら設定した目標を達成して会社にはアシュアランスを提供し、時と場所を選ばず必要に応じて経営陣の注意を喚起することができるようになりました」(デジタル監査チーム責任者)



信頼性に基づく 現実主義

デジタル監査チームが作成する成果物には信頼性が欠かせません。TeamMate+などのツールを活用し、Tempusの効率性と組み合わせることで、チーム間および組織全体にわたって成果を生み続けるレベルの信頼性を実現できます。デジタル監査チームの成果物を通して、この高い信頼性をステークホルダーに示すことにより、変化を管理し、混乱を最小限に抑える能力がさらに強化されます。

「2つの異なるアプリケーションが相互に連携して業務をサポートしてくれるおかげで、作業をより迅速に完了できるようになりました。また、特定の監査が当社に与える影響を現実的な視点で評価し、最終的に最も重要な情報と意思決定に関するインサイトをほぼリアルタイムで提供することが可能になりました。」(デジタル監査チーム責任者)





「このAPIの導入はシステム間の連携を再構築する鍵であり、業界の現在のトレンドにも合っています。APIを介したデータの統合により、信頼できる唯一の情報源を確立することが可能になります」

デジタル監査チーム責任者

シンプルさが鍵

デジタル監査チームがTeamMate+ Data Exchange APIのようなソリューションの必要性を検討し始めたとき、それが間違いなく複雑な作業になることを彼らは理解していました。しかし、それにも増して、継続的な成功を成し遂げるためにはそれが必要不可欠であることも認識していました。デジタル監査チームの業務環境において、彼らは何が必要で、誰が関与すべきかを知っていました。振り返ってみると、このような規模と複雑さを持つプロジェクトにおいては、シンプルさを保つことが重要であると分かります。使用するツールに慣れていくにつれ、チームはより効果的に反復的なプロセスを行い、その継続的な改善を通じて、プロジェクトを段階的に完了させることができるようになりました。

「ツールで何ができるかを決めるのは自分たち自身です。私たちは、収集すべきデータについて時々実験を行っています。適切な粒度とは何でしょうか？一歩下がって客観的な視点で見ることにより、何かを学んでは改善するという反復的なプロセスで作業を進められるようになります。このアプリケーションの柔軟性があってこそ、新しいことを試し、その可能性を広げていくことができるのです」
(デジタル監査チーム責任者)

TeamMate+ Data Exchange APIを活用して 次のステップへ

TeamMateのオープンエコシステムは、より広範なリスク環境との橋渡しをし、組織データを効果的に評価するために必要な接続性と透明性を提供します。TeamMate+ Data Exchange APIは、世界最高水準の監査システムと、他の最高水準のツールおよびそれらに含まれる情報との統合を実現します。内部監査チームは、システムレベルでの協業を可能にすることで、全体的な成功をさらに推進することができます。この協業により、現実のリスクや潜在的なリスクに対応できるだけでなく、主要なステークホルダーと一貫した連携を図ることができます。ビジネスの基幹システムを統合・連携するチャンスを活かせば、正確な報告書の作成や包括的なダッシュボードの構築、および高度な可視化が可能になります。一方、監査チームは利用可能なツールを使用することで、ワークフローをスリム化し、データの場所の特定・識別・評価が容易になります。この双方向のコミュニケーション手法により、監査人はデータの追跡に割く時間を大幅に削減し、分析に費やす時間を増やすことができます。

お問い合わせ先

日本

東京都港区三田1-3-31
FORECAST 三田5階

詳細については、tm.wolterskluwer.com
をご覧ください。

南北アメリカ

4221 W Boy Scout Blvd #500
Tampa, FL 33607
U.S.A.

ヨーロッパ、中東、アフリカ

8th Floor
30 Churchill Place
Canary Wharf
London
E14 5RE
United Kingdom
電話：+44 20 3197 6566

アジア太平洋

5 Shenton Way
#20-01/03 UIC Building
Singapore 068808



Wolters Kluwer